



私立高校の入試が始まりました

先週15日から私立高校の入試が始まりました。まずは私立高校推薦～私立高校一般～公立高校推薦～公立高校一般という流れになっていきます。3年生にとっては初めての高校入試になりますので、どんなに勉強していても不安になってしまうと思います。しかし、中学3年生にとってはみな同じですから、平常心を保って落ち着いて試験に臨んでほしいと思います。毎年この時期には入試の時に気を付けることを書いていますので、今年もちょっとだけ触れてみたいと思います。前日の夜。まずは、筆記用具と受験票、制服の準備は早めにやっておかなければなりません。そして、当たり前のことだとは思いますが、あまり遅くまで勉強せずしっかりと睡眠をとることが大切です。テストのときに眠気が出てしまうと大変です。集中してテストに臨めるよう睡眠をしっかりととりましょう。睡眠時間は 6時間から7時間は欲しいところです。当日の朝、スクールバスなどを利用する場合は集合時間が早くなりますので、起きる時間から逆算して就寝時間を決めればいいと思います。集合時間に間に合うよう時間に余裕を持って行動することが大切です。次は起きてからの朝食。朝食はとても大切です。午前中から脳をフル稼働させなければなりませんので、そのエネルギーをしっかりと補給することが必要です。前日の晩ご飯もそうですが、あまりおなかに負担をかけない消化のいいものを食べるといいと思います。それと、少量でいいので砂糖の入った甘いものを食べておくと、脳のエネルギー源としてすぐに利用できるそうなので試してみてもいいでしょう。さて、試験会場に着いてからですが、自分が入る教室を確認する。そして、トイレの場所も確認しておく。後は時間に余裕があったら自分のノートや問題集を見直しておくといいと思います。時々、知り合いの他校の生徒と大きな声でしゃべったりする生徒を見かけますが、やはり入試を受けに来た者の行動としては感心しません。テストがすべて終わるまで、集中力を保ってほしいものです。次にテストが始まってからについて。注意するところをいくつか書きます。

①テストは「始めの合図」で始めて、「終わりの合図」で終了です。

テスト監督の指示をよく聞いて行動することが大切です。受験番号を書き込むことも忘れないように。

②問題全体に目を通して、簡単にできそうなものから解いていく。

比較的解きやすい問題から順に並べてありますが、難しい問題は後回しにして、確実に解けるものを解いていったほうが得点を取りやすいと思います。

③できるだけ「空欄」を作らない

わからないからと言って簡単に「空欄」を作ってしまうと、採点されるときに「意欲が感じられない」と思われるかもしれません。できるだけ答を書き込んでいったほうがいいと思います。

④答を書く時、「漢字」がわからなかったら「ひらがな」でもいいので答えを書く。

国語の漢字の書き取り問題ではできませんが、人名や地名、ものの名前など漢字で書けないけど「ひらがな」ならかける場合があります。こんな時は「ひらがな」でもいいので答を書いてください。○にならないまでも、部分点がもらえるかもしれません。

⑤時間が来るまで最後まで問題と向き合う。

全部できたから居眠りなどすると大変です。点数とは別に入試に対する緊張感がないと判断されます。間違っていないか、漢字が間違っていないかなどもう一度答を見直すことが大切です。

さあ、次は休み時間の過ごし方です。まずはこの短い時間使ってトイレを済ませましょう。次の科目のテストを落ち着いて受けるために必要なことです。もし、まだ時間があるようなら、ノートや問題集を見るといいと思います。もし、昼食をはさんで午後までテストがある場合は、できるだけ早く食事を済ませ、休み時間と同じような過ごし方をするといいと思います。休み時間によくやりがちなことですが、すでに終わった教科の答え合わせをする人がいますが、これはやめてください。答え合わせをして自分の答が間違っていたことに気づいてショックを受ける時があります。そして、そのショックで次のテストに平常心で臨めなくなる場合があるからです。答え合わせはテストがすべて終わって、自宅に帰ってからゆっくりとやったほうがいいと思います。さて、テストが終了したらどのように行動したらいいのか。スクールバスを使ったり、公共交通機関を使ったりすると思いますが、まずは、まっすぐに家に帰り「帰宅の報告」を学校に入れてください。そして、2日目のテストがある人は次の日のテスト勉強をしてください。1日で終わった人は次の日の授業がありますので、きちんと準備をしておいてほしいと思います。

入試に向けてたくさん書きましたが、テスト当日に「平常心」を保つことができれば正しい判断ができ、自分の力をしっかりと発揮できると思います。そして、「平常心」を保つには時間的な余裕を持つことが必要になってきます。当日のスケジュールを確認して、前の夜から余裕を持った生活をしておくことで、大切なテストに「平常心」で臨むことができます。